

## 第 21 回 ACTV 放送番組審議会報告

このページは、全関西ケーブルテレビジョン（ACTV）の番組審議会のページです。

「放送法 第6条第1項」の規定により、放送番組審議機関として、「ACTV 番組審議会」を設置し、自主放送番組の審議を行っております。

ACTV の番組審議会は、年に1回開催しております。議題は、番組内容、編成方針、その他コミュニティチャンネルの放送サービス全般に渡っております。

ACTV では、審議会で提出されたご意見・ご質問・ご要望や斬新なアイデア、感想などを番組制作の改善や編成業務の参考にさせていただきます。

### 平成 30 年度番組審議会委員（敬称略・順不同）

委員長	奈良教育大学 准教授	河本 大地
委員	朝日放送テレビ株式会社 テレビ社長室 部長	木村 祥隆
委員	鳥取県 八頭町企画課長	川西 美恵子
委員	和歌山県 国保すさみ病院 事務長	仲 哲生
委員	朝日新聞大阪本社グループ企業・ネットワーク担当部長	平岡 和幸
委員	京丹後市 総務部情報推進課長	木村 裕一

日時：平成 30 年 8 月 3 日（金） 11：30～12：30

場所：全関西ケーブルテレビジョン 本社会議室

出席者：委員 6 名出席

（委員長）河本大地

（委員）木村祥隆、川西美恵子、仲哲生、平岡和幸、中川享一、

（ACTV）松尾匡、田中恒夫、迫田マサキ、宮崎裕也

※京丹後市総務部情報推進課長 木村裕一氏欠席のため、同課主任 中川享一氏が出席。

### 番組審議会議事

審議対象作品：当社のケーブルテレビ事業のコミュニティチャンネル放送番組。

1. 京丹後局 「文化財めぐり 第 42 回京丹後市立郷土資料館」 15 分
2. 八頭局 「若桜鉄道ヒストリー 観光列車昭和運航開始」 15 分
3. すさみ局 「第 26 回イブ王国国際ちびっこマラソン大会」 15 分

### 審議内容

審議対象作品に対する審議委員全体の感想は、「番組放送基準上、特に問題のある番組はない。全体的に分かりやすい番組だと思う。」というものだった。

各審議委員の意見、要望、感想は次の通りです。

#### 番組審議委員より総論としての感想

京丹後局「文化財めぐり 第42回京丹後市立郷土資料館」。一般的に番組には記録用と娯楽用がある、この番組は記録用だと思う。作り方としては、見学している感覚でとても分かりやすい。ただ、館内くまなく紹介しているので、少し総花的になっている。

八頭局「若桜鉄道ヒストリー 観光列車昭和運航開始」。コミュニティチャンネルにふさわしい番組である。紹介エリア、鉄道の歴史、列車の運用、そして各駅舎、バランスよく紹介されていて、とても見やすい番組である。

すさみ局「第26回イブ王国国際ちびっこマラソン大会」。子供たちの生き生きとした笑顔が15分、なぜか飽きない番組だ。ただマラソン大会なので全体がわかるコース図や、ドローンによる上空からの映像があれば、番組としてもっと分かりやすかった。

以上、概ね特に問題のある意見、感想はなかった。

#### ACTV制作担当者より

今回は、京丹後局が市内の文化財を巡るドキュメントのシリーズ番組、八頭局が歴史を背景にした若桜鉄道の物語、すさみ局が地元の子供たちの笑顔を見せる記録番組、どれも地元の担当者とのコミュニケーションを大切にして制作した番組です。

現在も、お互いがコミュニケーションをとりながら、加入者に喜んでもらえる番組作りをしています。

#### 松尾代表取締役社長

大変意義のある意見をたくさんいただき有難うございました。

番組放送基準を遵守した番組制作を心掛けるばかりではなく、映し出される住民の個人情報への扱い方などの細かい配慮も少しずつできるようになってまいりました。

ACTVのコミュニティチャンネルは、住民に喜んでもらえる番組作りと、行政の広報を住民に周知するという二つの役割があります。その上でこれからは、より住民に共感を戴ける番組とはどんな切り口の番組なのか、そのことを考えて行かねばなりません。

今後とも、番組の審査を強化しながら、さらに工夫を凝らした番組制作をやってまいります。